

シンポジウム

東日本大震災後の

農漁村地域の復興と持続可能性

東日本大震災後の持続可能性を重視した農漁村の地域づくりと復興の法的論点について、ドイツと日本の農業法や環境法を専門とする早稲田大学の棚澤教授（法社会学）の講演などから学び、意見交換を行います。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2013年10月19日（土）
15時～17時

会場：弘前大学人文学部棟4階多目的ホール（文京キャンパス内）

*入場無料、事前申込不要（学内外問わず参加歓迎）

第一部 講演

棚澤能生（くるみさわ・よしき）（早稲田大学）「戦後農地法制度の体系：持続可能社会への展望と阻害」

第二部 被災地の現状報告と意見交換

李永俊（弘前大学）「岩手県野田村の住民アンケート調査結果から」など

問い合わせ

飯 考行

（いい・たかゆき、弘前大学人文学部准教授）

住所 〒036-8560

弘前市文京町1 弘前大学人文学部

電話 0172-39-3958

電子メール iit@cc.hirosaki-u.ac.jp

*本シンポジウムは、平成25年度人文学部戦略経費「東日本大震災後の東北地方のQOLと労働福祉法政策研究」の一環です。

主催：弘前大学人文学部



弘前大学